



猿ヶ城溪谷 (垂水市)



千尋の滝 (屋久島町)

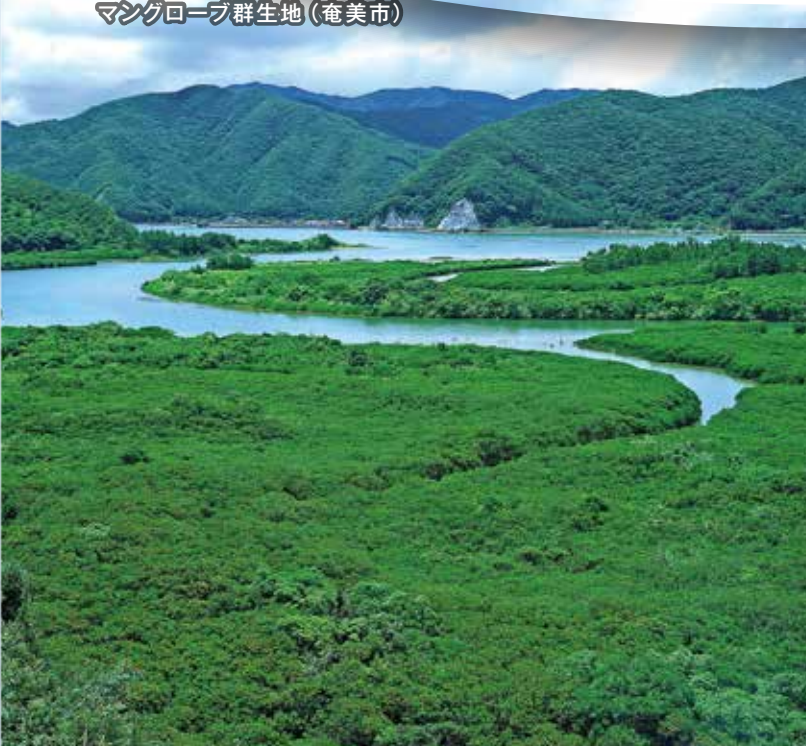
特集

大自然が創造した テーマパーク

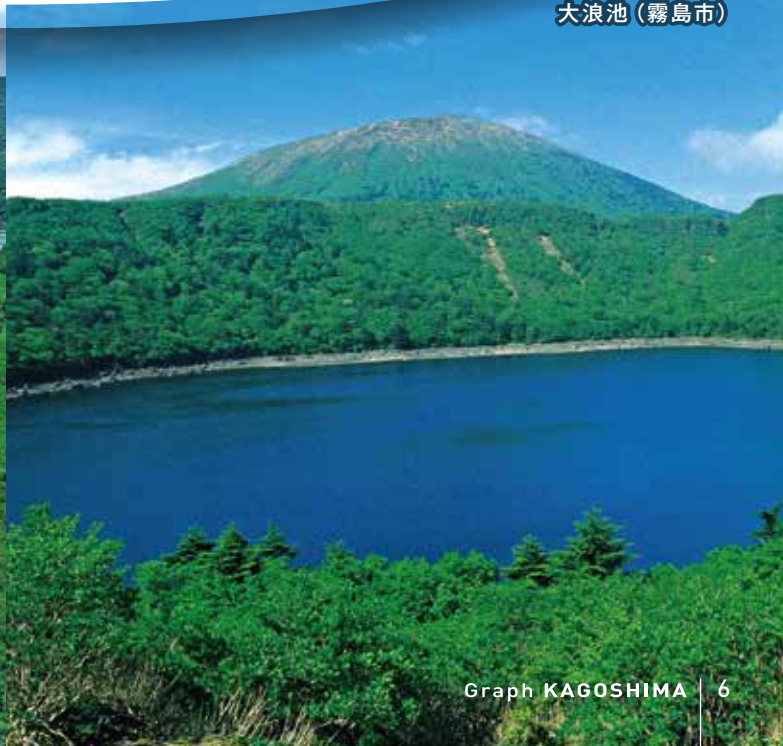
～ 鹿児島島の自然公園 ～

本県は、南北600キロメートルに及ぶ広大な県土を有し、日本で初めて国立公園に指定された霧島や世界自然遺産の屋久島、世界的にも貴重な動植物を有する奄美群島、また、鹿島断崖など優れた海岸景観などが評価され、新たに国定公園に指定された甌島^{てしきしま}など、他の地域にない優れた自然環境に恵まれています。

このかけがえのない恵み豊かな自然環境を大切に保存し、活用しながら、次の世代に確実に継承するため、本県では14カ所の自然公園が指定されています。

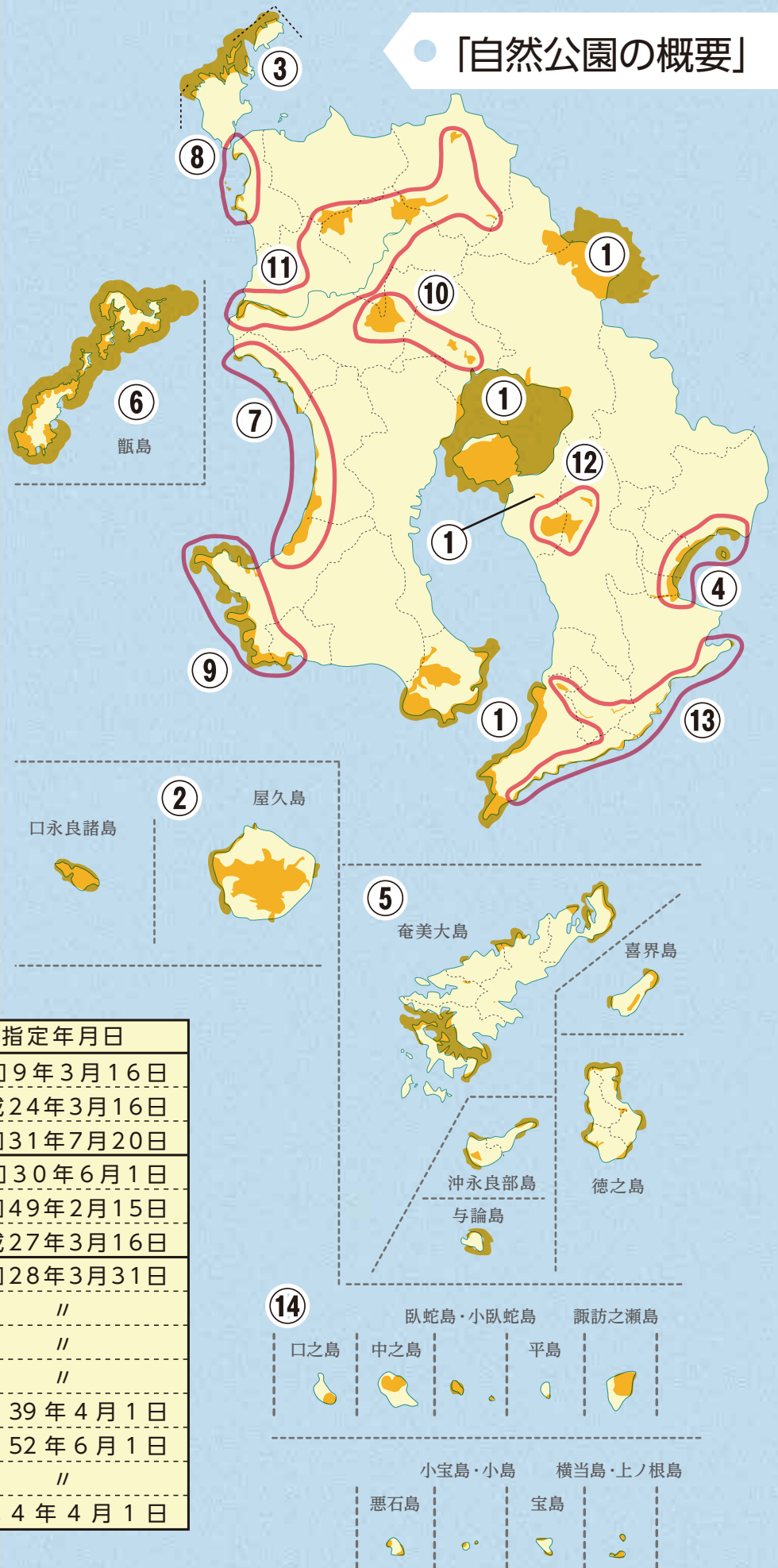


マングローブ群生地 (奄美市)



大浪池 (霧島市)

「自然公園の概要」



自然公園には、我が国の風景を代表し、世界的にも誇りうる傑出した自然の風景地として指定した「国立公園」と、国立公園の風景に準ずるすぐれた自然の風景地として指定した「国定公園」、さらに都道府県を代表するすぐれた自然の風景地を指定した「都道府県立自然公園」があります。

これらの自然公園は、すぐれた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、国民の保健・休養および教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的としています。

本県には、我が国で最初に指定された霧島錦江湾国立公園をはじめ、雲仙天草国立公園など14の自然公園があり、その面積（陸域面積）は県土面積の約9・7パーセントに当たる89,129ヘクタールに達し、県土に属する山岳、湖沼、海岸などの特色ある風景地の保護を図るとともに、野外レクリエーションの場として重要な役割を果たしています。

区分	公園名	指定年月日
国立公園	① 霧島錦江湾	昭和9年3月16日
	② 屋久島	平成24年3月16日
	③ 雲仙天草	昭和31年7月20日
国定公園	④ 日南海岸	昭和30年6月1日
	⑤ 奄美群島	昭和49年2月15日
	⑥ 甌島	平成27年3月16日
県立自然公園	⑦ 吹上浜	昭和28年3月31日
	⑧ 阿久根	//
	⑨ 坊野間	//
	⑩ 蘭牟田池	//
	⑪ 川内川流域	昭和39年4月1日
	⑫ 高隈山	昭和52年6月1日
	⑬ 大隅南部	//
	⑭ トカラ列島	平成4年4月1日

甌島国定公園

もっとも新しい国定公園

甌島国定公園が平成27年3月16日に指定されました(昭和56年指定の県立自然公園から移行)。甌島列島は薩摩半島から西へ約30キロメートルの東シナ海上にあり、上甌島・中甌島・下甌島の3つの有人島と属島群からなります。

国定公園指定にあたっては「太古の地球を感じる宝の島」をテーマとしています。特異な地形と豊かな自然が作り上げた島の風景は、見どころがたっぶり。海食断崖・奇岩・砂州など、海岸部の地形は波の影響を強く受けています。

列島西部には断崖が多く、下甌島の鹿島断崖では高さ200メートルにもなる場所もあります。波に削られて白亜紀以降の地層が露出し、日本の地質白選にも選定されています。



上甌島北部の海岸には、波の作用で砂が堆積して形成された地形も見られます。その代表的な場所のひとつが「長目の浜」です。ここでは約4キロメートルにわたって海を仕切るように砂州が延び、陸側には4つの池(なまこ池・貝池・鍛崎池・須口池)があります。

カノコユリの自生地が点在するほか、国内最大級のハマナツメ群落、カラスバト・ミサゴ・ウミネコなどの鳥類、固有種のコシキトゲオトンボなど、珍しい動植物の宝庫でもあります。また、貝池には「フロマチウム」という原始的な微生物も生息。これが確認されているのは、世界でもわずかに数カ所だけです。

上甌島北部の海岸には、波の作用で砂が堆積して形成された地形も見られます。その代表的な場所のひとつが「長目の浜」です。ここでは約4キロメートルにわたって海を仕切るように砂州が延び、陸側には4つの池(なまこ池・貝池・鍛崎池・須口池)があります。

鹿島断崖

横縞模様に露出した地層が観察できます。ウミネコ繁殖地の南限でもあります。



ナポレオン岩

高さ127メートルの奇岩。名前の由来は横から見るとフランスの英雄の顔に似ていることから。



長目の浜

「甌島長目の浜及び潟湖群の植物群落」として国の天然記念物にも指定されました。

「甌島国定公園の概要」



甌島人としての魂を次世代にも伝えていきたい

庵地つけあげ店代表 あんちすぐる 庵地 優 さん



昭和53年、上甌島里町生まれ。大学中退後、実家のつけあげ店の後継者としてUターン。甌島の地魚を使ったつけあげは、歯応えがあり、ほどよい甘みの特徴。自身も漁に出かけた経験を持ち、甌島の新鮮な素材の良さを知り尽くしている。

昭和53年6月13日、私は里村出身の父と里村出身の母のもと、本土行きフェリーに間に合わずに母の実家で生まれました。島には高校がないため、15歳で島を出なければなりません。生まれも育ちも生粋の「甌島人」であった私も例外ではなく、島を発ち、高校、大学と進学しました。しかし大学在学中、父親が倒れてしまい帰郷。23歳で結婚しましたが、福岡県久留米市という都会育ちの妻にとって甌島の生活は驚きの連続だったようです。

10年前に里村は薩摩川内市として合併しました。当初から甌島は宝の島として位置付けていただき、多くの方々からたくさんのサポートをいただきました。そして今、甌島は国定公園という非常に名誉ある指定を受けました。これからは私たち島民が、この大きな舞台で歌って踊る番。甌島に古くから伝わる民俗楽器「こったん」のように、来島してくださった皆さま方を喜ばせる、そんな努力がさらに必要になってくると思っています。

過疎化はいまだに進行し、目を向ければマイナスなことも見えてきます。それでも先人から私たちの代へ、そしてまたその次の世代へ甌島の魂を引き継いでいけるように、さらに地域おこしの最先端がここにあると日本全国に知ってもらえるように、これからも頑張っていきたいと思えます。

きっかけの自然 また訪れたい甌島

薩摩川内市地域おこし協力隊 (下甌島担当) せきみほこ 関 美穂子 さん



平成2年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学にて観光人類学を研究。大学卒業後、福岡の旅行代理店に勤務。より地域に密着した観光に携わりたく、平成25年6月に下甌島の地域おこし協力隊に参加。観光商品の造成やイベントの企画を行っている。

以前は福岡の旅行代理店に勤めていたが、2年前に思い切って、知り合いが誰もいない下甌島に地域おこし協力隊として飛び込みました。地域おこし協力隊というのは、都会の若者が地域に入って地域の方々や地域おこし活動をするというもので、甌島列島は上甌島に2人、下甌島に2人で活動しています。活動内容は主に観光に特化しており、特産品の開発、体験プログラムやツアーの企画、観光の情報発信や観光案内などを行っています。

今回の国定公園指定に伴い、これまで甌島を知らなかった方々にも広く存在を知ってもらえるきっかけになるのではと期待しています。一度旅行で訪れた場所にもう一度行ってみたいと思う理由は、「あの人に会いたい」「あそこに泊まりたい」「あれがしたい」といった具体的なことがあるからだと思いますが、甌島では国定公園に指定されるほどの素晴らしい自然も、リーダーになっていただくための理由の一つになると確信しています。

私たち地域おこし協力隊は、この甌島でしかできない体験、それを磨き上げるお手伝いを地域の方と一緒にこれからもしていきたいと思えます。そういった方々との関係を大切にしながら、しっかりと観光客の方に甌島の自然に親しめる仕組み作りをしていきたいと思えます。

「甌島 人と想いを 繋ぐ島」

(甌島に対する私のイメージを川柳にしました)

国定公園に指定された甌島は、「長目の浜」や「ナポレオン岩」をはじめとした優れた景勝地であることは当然ですが、この国定公園指定は、あくまでも「きっかけ」に過ぎず、これを契機として、今後、何を仕掛けていくのが最も重要であると考えています。また、これまでの風景を楽しむだけの観光ではなく、そこにテーマやストーリー性など「甌島ならでは」をプラスαした他にはない観光に、行政主導ではなく、地域が主体となって考え、行政が支援する形で、今後取り組んでいく必要があります。

このチャンスが、10年後の甌島にとって「きっかけ(成功)」となるのか「せっかく(失敗)」となるのか待ったなしのスタートは切られたばかりです。

薩摩川内市 企画政策部企画政策課 甌はひとつ推進室 にしぞのともひろ 西園 友宏 さん



霧島錦江湾 国立公園



佐多岬

北緯31度線上にあり、離島を除く日本の最南端の地です。海岸線は切り立った断崖。



桜島

島内には文明噴火・安永噴火・大正噴火・昭和噴火で形成された溶岩原が広がっています。



開聞岳

美しく整った姿から「薩摩富士」とも呼ばれ、海辺に突き出した山容は圧巻。



大地の活力を体感できる

霧島錦江湾国立公園は昭和9年3月16日に国立公園指定。日本初の国立公園の一つで、じつに80年以上の歴史を有しています。当初は「霧島国立公園」の名称で、その範囲は霧島エリアのみでした。その後、昭和39年に錦江湾(桜島、指宿・佐多岬)と屋久島を追加編入して「霧島屋久国立公園」へと拡大。さらに平成24年に「屋久島国立公園」が分離・独立し、現在の「霧島錦江湾国立公園」となっています。

霧島エリアは韓国岳(標高1700メートル)を最高峰とした火山群。その範囲は東西に約22キロメートル、南北に約18キロメートルと広大で、鹿児島県(霧島市・湧水町)と宮崎県(都城市・小林市・えびの市・高原町)にまたがっています。ここでは火山活動によってできた地形、噴気活動や温泉などを見ることが出来ます。ミヤマキリシマやキリシマツツジ、固有種のノカイドウをはじめとする多様な植生も特徴です。

また、天孫降臨(ニギノミコト)が高千穂峰に降り立ったの地とも伝えられています。

錦江湾(鹿児島湾)は北部に始良カルデラ、南部に阿多カルデラと火山活動によって形成されました。桜島は始良カルデラの南縁に位置し、現在も活発に活動しています。鹿児島市吉野の海岸部ではカルデラ壁(外輪山)も見られます。温泉地として有名な指宿周辺は阿多カルデラ内にあたり、美しい円錐形の開聞岳や九州最大のカルデラ湖である池田湖など、景勝地も多数あります。また、大隅半島南部の佐多岬も国立公園区域で、ヘゴ・ビロウ・ソテツといった亜熱帯性の植物が自生しています。

▼重富海岸：重富海岸の広大な干潟。ハクセンシオマネキ、ウミニナ、ミサゴといった珍しい生物が生息。



平成24年3月に始良カルデラ（錦江湾奥部）が国立公園の区域に追加されました。平成27年4月5日には、自然情報発信と自然とのふれあいの拠点として始良市の重富海岸に「重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム」がオープンしました。施設運営はNPO法人くすの木自然館が環境省より受託して行っています。

世界的にも珍しい地形 渚は生物多様性の宝庫

なぎさミュージアムは、国立公園内のこのエリアの拠点施設で、重富干潟の生態系や始良カルデラについて展示。体験学習などの環境教育の場としても活用されています。平成18年より運営してきた「重富干潟小さな博物館」を前身とし、これを改築して整備されたものです。

錦江湾奥部は約3万年前の始良大噴火によって形成されました。直径約20キロメートル、最深部は200メートル以上にもなる巨大カルデラ。重富海岸はカルデラの北西部に位置し、国立公園に指定された海域や桜島を一望できます。また、約53ヘクタールもこの広大な干潟があり、ここでは多様な生態系が育まれています。



ミュージアムは外光を取り入れた明るい雰囲気。海に面したウッドデッキからの眺めも抜群。



NPO法人 くすの木自然館
代表理事
はまもと なこ
浜本 奈鼓 さん

海のカルデラは世界的にも希少な地形で、この干潟もまた貴重な存在。国立公園にふさわしい自然です。それとは別にしようひとつ、重要な意義があると考えています。それは地域に暮らす人々との関わりです。

じつは、15年ほど前(平成12年ごろ)まで、重富海岸は非常に荒れていました。ゴミが散乱し、あまり立ち入りたくない場所でした。そんな中で、地域住民が一丸となって再生に取り組み、私たちもお手伝いをしてきました。ゴミを取り去ると、そこには白砂青松の美しい景観があります。環境保全活動は現在も進行中で、住民の皆さんの努力で自然・景観が維持されているのです。

きれいな場所です。ぜひ、足を運んでみてください。多くの方に錦江湾の魅力を知っていただきたいです。

重富海岸自然ふれあい館 なぎさミュージアム：TEL 0995-73-3146

公式ホームページ <http://www.nagisa-museum.com/>

自然環境を次の世代に継承するために ～お知らせ～

自然公園では、優れた自然風景を保護するため、各種の行為が規制されています。一定の行為を行う場合は、公園計画で定められる保護区分により、環境大臣や知事の許可又は届出が必要です。

詳細については、お問い合わせください。

(問い合わせ先) 環境林務部 自然保護課 自然公園係 ☎099-286-2617

大島支庁 総務企画課 商工観光係 ☎0997-57-7215

(鹿児島県ホームページアドレス) <http://www.pref.kagoshima.jp/>

また、自然公園の利用に当たっては、次のようなことに注意しましょう。

- 車を使わずに歩くことを基本としましょう。
- 空き缶やゴミは持ち帰りましょう。
- 動植物は見て楽しみましょう。
- 万全の準備をしてから行動しましょう。
- 騒音を発したり、利用施設を独占しないようにしましょう。
- 火の取扱には注意しましょう。

重富海岸自然ふれあい館

なぎさミュージアム